

1. 活動時期 2025年6月22日～7月22日

高校1年 雨宮 幸輝

2. 参加したきっかけ

僕は昨年、千葉市姉妹都市交流活動としてアメリカヒューストン市に派遣されました。そこで実際にホストファミリーとの生活や現地の学校に通い、様々な人々特に自分とは文化や生活考え方などを持つ人々と関わることで自分の視野が広がりました。また、何に対しても積極的にそしてポジティブに取り組めるようになりました。そんな中今回のプログラムを見つけた際、自分にぴったりだと思い参加しようと思いました。

3. 活動の概要

(1) ニューヨーク観光

キャンプが始まる前に、ニューヨークに住んでいるキャンパー家に2泊3日ホームステイし、ホストファミリーに色々な所に連れていってもらったり、キャンプの運営が主催するニューヨーク観光ツアーに参加できます。

(2) キャンプ生活 キャンパー60人 カウンセラー20人

(3) 典型的な1日

8:00 起床 8:45 テントチェック 9:15 朝食 9:45 チームワーク(掃除) 11:00 プロジェクト

12:15 昼の集まり 12:30 昼食 13:45 休み時間

15:00 インストラクション(キャンパーがキャンパーに自分の持っている知識文化などを教えます)

17:15 夕食 19:00 夜のプログラム 21:15 夜の集まりと1日の振り返り 21:45 テントトーク 22:15 就寝

(4) 行われた行事など

毎週土曜日の夜に variety show がありお笑いをしたり楽器を演奏したり歌を歌ったりして盛り上がります。日曜日の夜にはカウンセラーという森の中に入って、カウンセラーやキャンパーが自分の話をしたりみんなで1週間の終わりに感謝の気持ちを表します。

また月曜日は休日で、ほとんどの時間が休んで友達とスポーツをしたりプールに行ったりします。そして1番大きな行事は、2週目と3週目で人数が半分ずつ行われる naturetripです。2泊3日で周り全てが自然の森のような中で過ごします。食事は自分たちで作り、またテントも自分たちで組み立て固定するなど本当に自分たちだけの力で過ごしました。

4. 感想

僕がこのキャンプで1番印象に残っていることを書きます。このキャンプでは、世界の様々な国から代表として60人が集まりキャンプをします。なかには難民としてアメリカに移動している人や、今国で戦争が起きている人そんな人たちもいます。

そんな中、僕はあるキャンパーとの関わりで大きく性格が変わりました。彼はアメリカニューヨーク代表としてこのキャンプに来ていて、僕と同じ15歳でした。彼はいつも明るくみんなを笑わせてくれる、そんな人でした。

このキャンプには毎日その日のリーダーが2人いて、順番に回していく仕組みになっていました。リーダーは、一日の大まかな日程を決めみんなをまとめなければいけません。僕は彼と同じ日のリーダーになりました。彼と日程を決めていくうちに、互いの意見がすれ違いやはり自分にリーダーは向いていないと思うこともありました。しかし彼は、自分が何度指摘しても自分の意見を変えませんでした。しかし間違っている所は認め、最終的には2人の案を組み合わせました。そんな彼がリーダーをしている姿を見ると、本当に自分に自があるように見えました。彼とはそれをきっかけに仲良くなり、一緒にスポーツをしたりご飯を食べてりしているうちに、自分も彼のように意見をしっかりと言えていると感じました。そして段々自分に自言がわき、色々なプログラムのリーダーに自分からなりました。その結果、たくさんの友達ができ、自分から日本についてや自分のことについてもっと知ってもらいたいと思いたくさん話しました。そして話すだけでなく、相手のことも聞き理解するそのことの重要さに気付かされました。そして文化を認め合うそんなことがこのキャンプだけではなく、世界中に広がってほしい、広めたいと思いました。



5. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

何事にも挑戦してみたいと思う強いマインドと、自分の主張を言える生徒におすすめです。せっかくの留学なので自分からポジティブに積極的に話しに行くことをおすすめします。自分も英語は始めの方はできなかったのですが、ジェスチャーと一緒に何かをすることを積極的にしたことでも多くの友達ができました。自分の言いたいことが伝わらないこともよくありますが、何より積極的に行動することが大事だと思います。